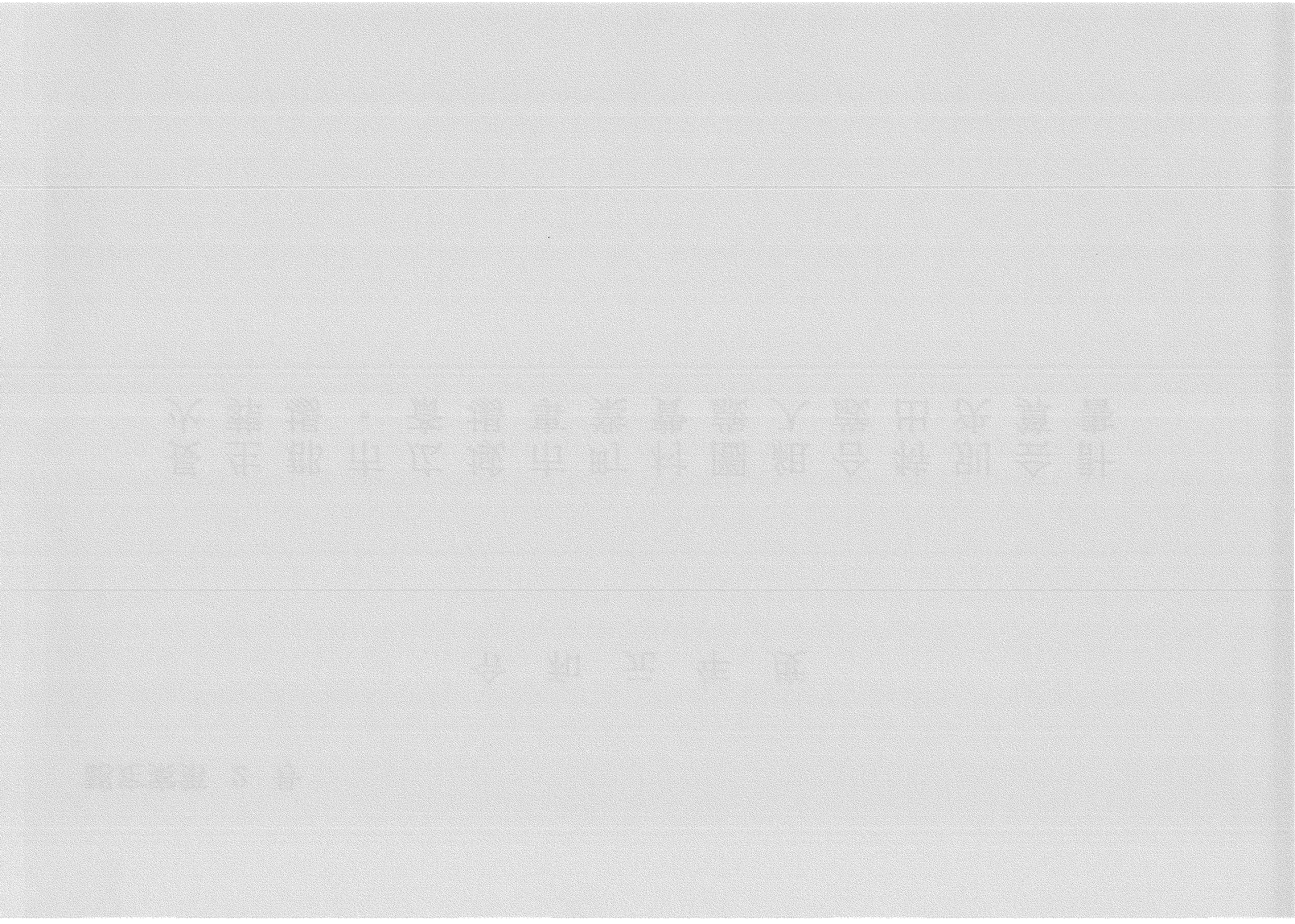


認定案第 2 号

令和元年度

長生郡市広域市町村圏組合特別会計
火葬場・斎場事業費歳入歳出決算書



令和元年度 長生郡市広域市町村圏組合 特別会計 火葬場・斎場事業費歳入歳出決算書

歳 入

款	項	予 算 現 額	調 定 額	収 入 済 額	不 納 欠 損 額	収 入 未 済 額	予算現額と収入済額との比較
1 分担金及び負担金		108,596,000 ^円	108,596,000 ^円	108,596,000 ^円	0 ^円	0 ^円	0 ^円
	1 負 担 金	108,596,000	108,596,000	108,596,000	0	0	0
2 使用料及び手数料		44,685,000	45,936,136	45,936,136	0	0	1,251,136
	1 使 用 料	44,685,000	45,936,136	45,936,136	0	0	1,251,136
3 繰 越 金		4,380,000	4,380,235	4,380,235	0	0	235
	1 繰 越 金	4,380,000	4,380,235	4,380,235	0	0	235
4 諸 収 入		82,000	87,337	87,337	0	0	5,337
	1 預 金 利 子	1,000	413	413	0	0	△ 587
	2 雑 入	81,000	86,924	86,924	0	0	5,924
歳 入 合 計		157,743,000	158,999,708	158,999,708	0	0	1,256,708

歳 出

款	項	予 算 現 額	支 出 済 額	翌年度繰越額	不 用 額	予算現額と支出済額との比較
1 事 業 費		156,743,000 ^円	155,202,414 ^円	0 ^円	1,540,586 ^円	1,540,586 ^円
	1 事 業 費	156,743,000	155,202,414	0	1,540,586	1,540,586
2 予 備 費		1,000,000	0	0	1,000,000	1,000,000
	1 予 備 費	1,000,000	0	0	1,000,000	1,000,000
歳 出 合 計		157,743,000	155,202,414	0	2,540,586	2,540,586

歳入歳出差引残額 3,797,294 円

令和 2 年 8 月 31 日提出

長生郡市広域市町村圏組合
管理者 田 中 豊 彦

令和元年度

長生郡市広域市町村圏組合特別会計
火葬場・斎場事業費歳入歳出決算事項別明細書



令和元年度 長生郡市広域市町村圏組合 特別会計火葬場・斎場事業費歳入歳出決算事項別明細書

歳入

款	項	目	予 算 現 額				計	節	調 定 額	収入済額	不 納 欠 損 額	収 入 未 済 額	備 考		
			当 予 算 額	補 予 算 額	正 額	継続費及び 繰越事業費 繰越財源 充当額								区 分	金 額
1	分 担 金 及 び 負 担 金		102,951,000	5,645,000	0	108,596,000		108,596,000	108,596,000	0	0				
		1	102,951,000	5,645,000	0	108,596,000		108,596,000	108,596,000	0	0				
		1 負 担 金	102,951,000	5,645,000	0	108,596,000		108,596,000	108,596,000	0	0				
		1 市町村負担金					108,596,000	108,596,000	108,596,000	0	0	茂原市 80,515,000 長柄町 12,114,000 長南町 15,967,000			
2	使 用 料 及 び 手 数 料		43,085,000	1,600,000	0	44,685,000		45,936,136	45,936,136	0	0				
		1	43,085,000	1,600,000	0	44,685,000		45,936,136	45,936,136	0	0				
		1 使 用 料	43,085,000	1,600,000	0	44,685,000		45,936,136	45,936,136	0	0				
		1 土 地 使 用 料					1,000	5,340	5,340	0	0	電柱 2件			
		2 建 物 使 用 料					4,000	5,400	5,400	0	0	自動販売機 1件			
		3 聖 苑 使 用 料					38,900,000	39,894,130	39,894,130	0	0	火葬場・式場等使用料			
3	繰 越 金		1,000,000	3,380,000	0	4,380,000		4,380,235	4,380,235	0	0				
		1	1,000,000	3,380,000	0	4,380,000		4,380,235	4,380,235	0	0				
		1 繰 越 金	1,000,000	3,380,000	0	4,380,000		4,380,235	4,380,235	0	0				
4	諸 収 入		82,000	0	0	82,000		87,337	87,337	0	0				
		1	1,000	0	0	1,000		413	413	0	0				
		1 預 金 利 子	1,000	0	0	1,000		413	413	0	0				
		1 預 金 利 子					1,000	413	413	0	0				
		2	81,000	0	0	81,000		86,924	86,924	0	0				
1 雑 入	81,000	0	0	81,000		86,924	86,924	0	0						
1 雑 入					81,000	86,924	86,924	0	0	自動販売機電気料 35,285 自動販売機管理手数料 44,139 公衆電話利用料ほか 7,500					
歳入合計			147,118,000	10,625,000	0	157,743,000		158,999,708	158,999,708	0	0				

歳出(款:1事業費 項:1事業費 目:1聖苑管理費)

款	項	目	予算現額				計	節		支出済額	翌年度繰越額 継続費 繰越明許費 繰越し	不用額	備考	
			当 予 算 額	補 正 算 額	及 び 繰 越 額	子 備 費 支 出 及 流 用 増 減		区 分	金 額					
			円	円	円	円		円	円	円	円	円		
1	事業費		146,118,000	10,625,000	0	0	156,743,000			155,202,414	0	1,540,586		
			146,118,000	10,625,000	0	0	156,743,000			155,202,414	0	1,540,586		
		1 聖苑管理費	138,811,000	10,692,000	0	0	149,503,000			148,002,943	0	1,500,057		
								2 給料	13,946,000	13,945,560	0	440	職員 2人分 再任用職員 1人分 非常勤職員 2人分	
								3 職員手当等	6,356,000	6,100,582	0	255,418	扶養手当 78,000 地域手当 669,108 通勤手当 242,280 時間外勤務手当 312,542 管理職手当 560,400 期末勤勉手当 3,997,452 退職手当負担金 240,800	
								4 共済費	3,705,000	3,672,645	0	32,355	共済組合負担金 2,532,599 社会保険料 1,063,630 公務災害補償負担金 23,874 労災保険 10,714 雇用保険 41,828	
								11 需用費	46,349,000	45,188,152	0	1,160,848	消耗品費 1,533,665 燃料費 125,271 印刷製本費 141,855 光熱水費 20,847,452 修繕料 22,539,909 12節役務費へ流用 379,000	
								12 役務費	1,169,000	1,167,765	0	1,235	通信運搬費 361,279 手数料 11,325 保険料 795,161 11節需用費から流用 379,000 14節使用料及び賃借料から流用 4,000 18節備品購入費から流用 37,000	

歳出(款:1事業費 項:1事業費 目:1聖苑管理費)

款項	目	予算現額					計	支出済額	翌年度繰越額 継続費通次繰越 繰越明許費 事故繰越し	不用額	備考		
		当 予 算 額	初 額	補 正 算 額	及 び 費 用 増 減 額	子 備 費 支 出 及 流 用 増 減 額						節	
												区 分	金 額
		円	円	円	円	円	円	円	円	円			
							13 委託料	51,928,000	51,922,465	0	5,535	火葬業務委託 26,774,760 火葬炉保守点検業務委託 2,667,500 機械設備保守点検業務委託 2,266,000 合併浄化槽維持管理業務委託 413,710 清掃管理業務委託 9,758,256 警備業務委託 164,796 消防設備保守点検業務委託 239,382 自家用電気工作物保安全管理業務委託 375,396 自動ドア保守点検業務委託 198,000 ダイオキシン類検査業務委託 487,080 健康診断業務委託 88,105 高所作業用電動リフト保守点検業務委託 71,820 トンネル点検業務委託 2,268,000 不動産鑑定業務委託 (用地賃貸料算定) 380,160 倒木運搬処理業務委託 973,500 法面本復旧(敷地内) 測量業務委託 1,474,000 設計業務委託 3,322,000	
							14 使用料及び賃借料	1,047,000	1,037,194	0	9,806	火葬場斎場用地賃借料 711,945 受信料 36,361 公用パソコン借上料 176,580 AED借上料 60,168 庁用自動車借上料 26,840 仮設トイレ借上料 25,300 12節役務費へ流用 4,000	
							15 工事請負費	23,369,000	23,368,020	0	980	空調機等改修工事 10,527,000 火葬炉設備更新工事 11,968,000 柱上気中開閉器更新工事 614,520 停電時車庫シャッター開閉機設置工事 258,500	

歳出(款:1事業費 項:1事業費 目:1聖苑管理費)

款	項	目	予算現額				計	節		支出済額	翌年度繰越額 継続費過次繰越 繰越明許費 事故繰越し	不用額	備考
			当 予 算 額	初 算 額	補 正 額	正 額		及 び 繰 越 額	支 出 及 流 用				
			円	円	円	円	円		円	円	円	円	円
								18 備品購入費	1,622,000	1,589,960	0	32,040	庁用備品 161,580 火葬場・斎場用備品 1,428,380 12節役務費へ流用 37,000
								19 負担金補助 及び交付金	2,000	1,800	0	200	千葉県町村会負担金
								23 償還金利子 及び割引料	1,000	0	0	1,000	
								27 公 課 費	9,000	8,800	0	200	自動車重量税
		2 霊 柩 車 管 理 費	7,307,000	△67,000	0	0	7,240,000			7,199,471	0	40,529	
								2 給 料	5,544,000	5,544,000	0	0	非常勤職員 3人分
								3 職員手当等	108,000	102,000	0	6,000	通勤手当
								4 共 済 費	885,000	874,883	0	10,117	社会保険料 845,664 労災保険 17,560 雇用保険 11,659
								11 需 用 費	470,000	447,468	0	22,532	消耗品費 4,104 燃料費 119,746 修繕料 289,480 被服費 34,138 12節役務費へ流用 96,000
								12 役 務 費	217,000	216,020	0	980	手数料 11,100 保険料 204,920 11節需用費から流用 96,000
								19 負担金補助 及び交付金	5,000	4,700	0	300	一般貨物自動車運送事業適齢 診断負担金
								27 公 課 費	11,000	10,400	0	600	自動車重量税
2	予 備 費		1,000,000	0	0	0	1,000,000			0	0	1,000,000	
	1		1,000,000	0	0	0	1,000,000			0	0	1,000,000	
		1 予 備 費	1,000,000	0	0	0	1,000,000			0	0	1,000,000	
歳出合計			147,118,000	10,625,000	0	0	157,743,000			155,202,414	0	2,540,586	

実 質 収 支 に 関 する 調 書

特 別 会 計

区 分				金 額
1	歳 入	総 額		158,999 千 円
2	歳 出	総 額		155,202
3	歳 入 歳 出	差 引 額		3,797
4	翌年度へ繰り 越すべき財源	(1) 継 続 費 通 次 繰 越 額		0
		(2) 繰 越 明 許 費 繰 越 額		0
		(3) 事 故 繰 越 し 繰 越 額		0
		計		0
5	実 質 収 支		額	3,797
6	実質収支額のうち地方自治法第233条の2の規定による基金繰入額			0

財 産 に 関 する 調 書

1 公 有 財 産

(1) 土 地 及 び 建 物

区 分	土 地 (地 籍)			建 物											
	前年度末 現在高	決 算 年 度 中		前年度末 現在高	木 造 (延面積)			非 木 造 (延面積)			延 面 積 計				
		増	減		前年度末 現在高	増	減	前年度末 現在高	増	減	前年度末 現在高	増	減	前年度末 現在高	
火葬場・斎場	26,161.73 <small>m²</small>	<small>m²</small>	<small>m²</small>	26,161.73 <small>m²</small>	<small>m²</small>	<small>m²</small>	<small>m²</small>	3,607.89 <small>m²</small>	<small>m²</small>	<small>m²</small>	3,607.89 <small>m²</small>	3,607.89 <small>m²</small>	<small>m²</small>	<small>m²</small>	3,607.89 <small>m²</small>
進 入 路	4,362.00			4,362.00											
合 計	30,523.73			30,523.73				3,607.89			3,607.89	3,607.89			3,607.89

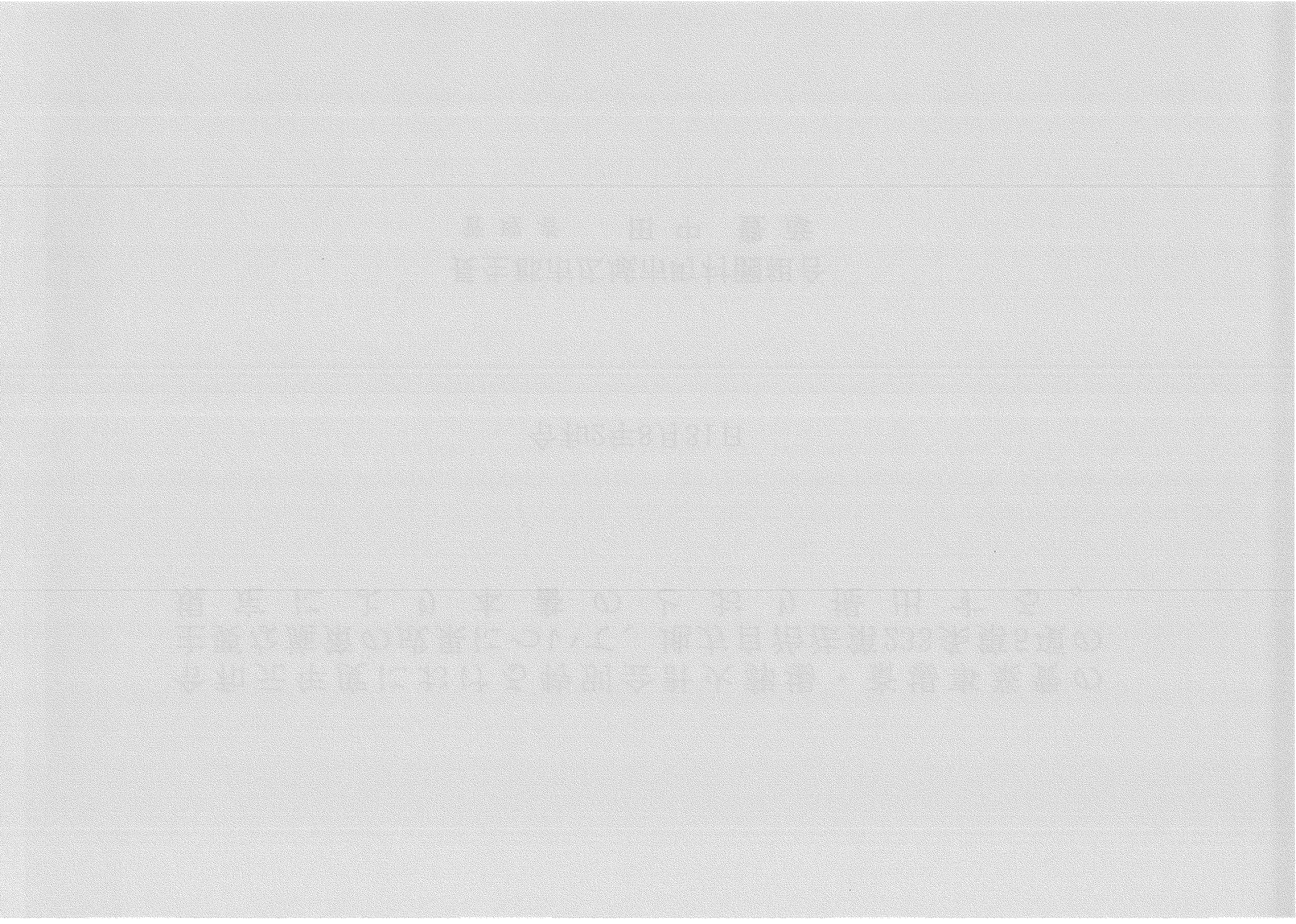
(2) 主 な 物 品

区 分	前年度末現在高	決 算 年 度 中 増 減 高		決 算 年 度 末 現 在 高
		(増)	(減)	
事業用財産	発電機	0 台	2 台	2 台
	庁用自動車	1 台	1 台	0 台
	霊柩自動車	2 台		2 台

令和元年度における特別会計火葬場・斎場事業費の
主要な施策の成果について、地方自治法第233条第5項の
規定により本書のとおり提出する。

令和2年8月31日

長生郡市広域市町村圏組合
管理者 田中 豊彦



聖苑管理費（歳出 148,002,943円 前年度比95.0% ※人件費含む）

長南聖苑は、開設から21年が経過し、施設の老朽化が進んでいます。故人との最後のお別れの場となる施設であることから、計画的に改修等を行い利用者への配慮に努めています。

令和元年度は、空調機等改修工事、火葬炉設備更新工事及び棺台車を更新しました。また、敷地入口付近に設置しているやすらぎトンネルは、5年に一度の点検を行い修繕等の必要が無い良好な状態を確認しました。

9月の台風第15号では3日間の停電が発生し、式場等が自家発電の供給範囲外であったことから、利用者に不便が生じたため、移動式発電機及び投光器などを購入し今後の災害に備えました。

なお、10月の豪雨では、敷地内外に土砂崩れが発生し、土砂や倒木により受水槽が破損し施設への給水に影響が生じたため、予定していた施設内の照明器具一部更新を見送り、災害復旧を優先しました。



敷地内の土砂崩れ



土砂崩れで破損した受水槽

霊柩車管理費（歳出 7,199,471円 前年度比64.1% ※人件費含む）

霊柩車の運行にあたっては、平成29年度、平成30年度の2か年で霊柩車2台を更新し、運転手の運行前・運行後の点検及び定期点検整備を実施しながら、利用者の安全性の確保に努めました。

火葬件数

(単位：件)

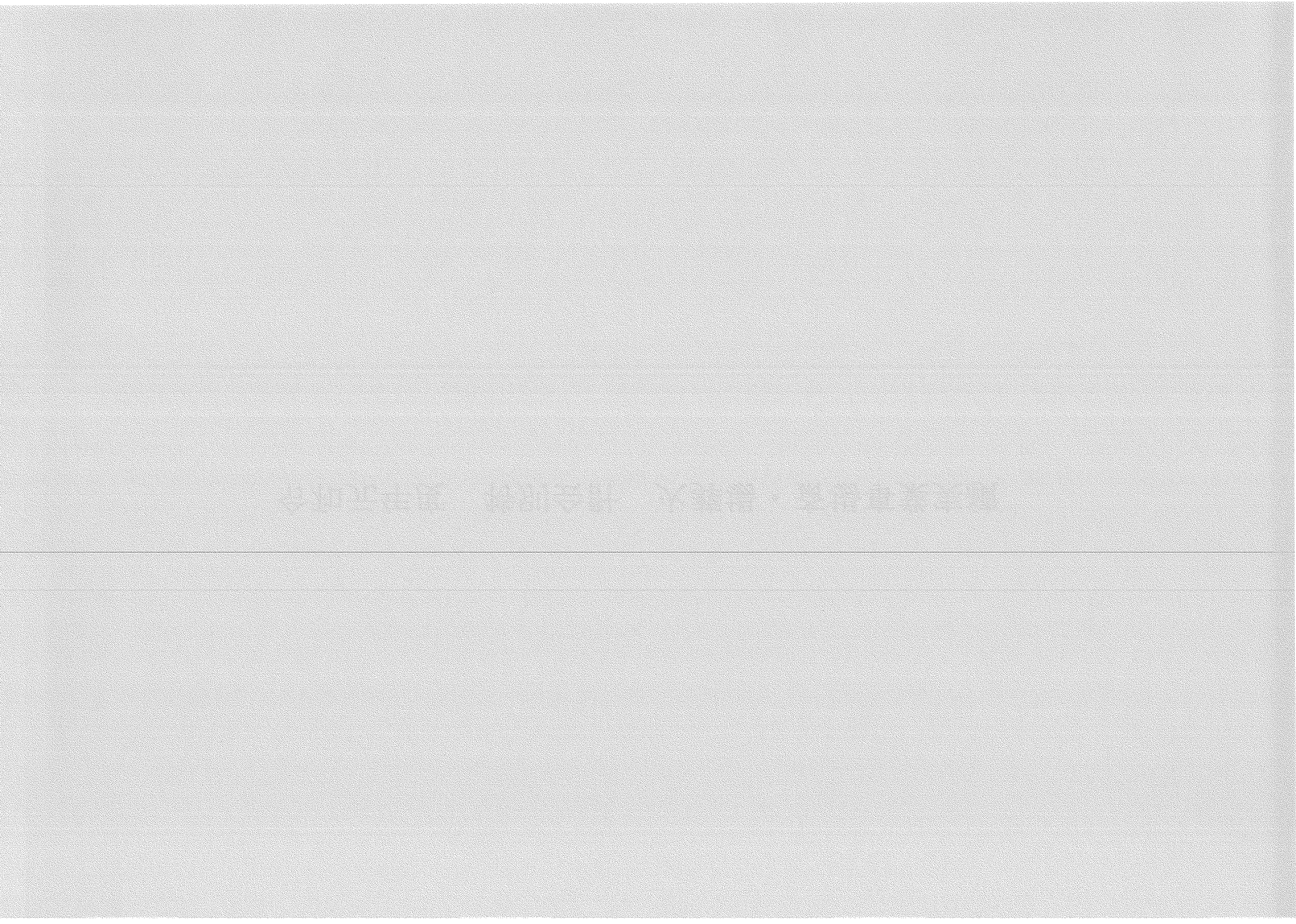
年 度	火 葬					前年度比
	12歳以上	12歳未満	改葬遺骨	四 肢	計	
平成27年度	1,274	11	4	2	1,291	△ 29
平成28年度	1,352	10	3	7	1,372	81
平成29年度	1,346	10	2	1	1,359	△ 13
平成30年度	1,380	19	2	3	1,404	45
令和元年度	1,402	6	1	8	1,417	13

式場・霊柩車使用 件数

(単位：件)

年 度	式 場	霊 柩 車	
		前年度比	前年度比
平成27年度	376	△ 21	△ 42
平成28年度	370	△ 6	△ 18
平成29年度	393	23	31
平成30年度	403	10	△ 20
令和元年度	398	△ 5	△ 9

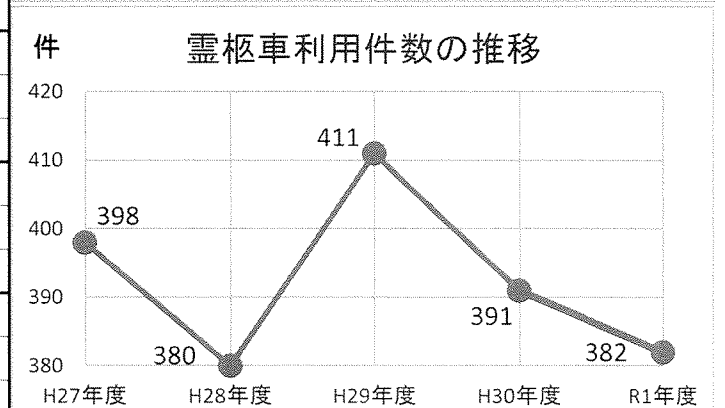
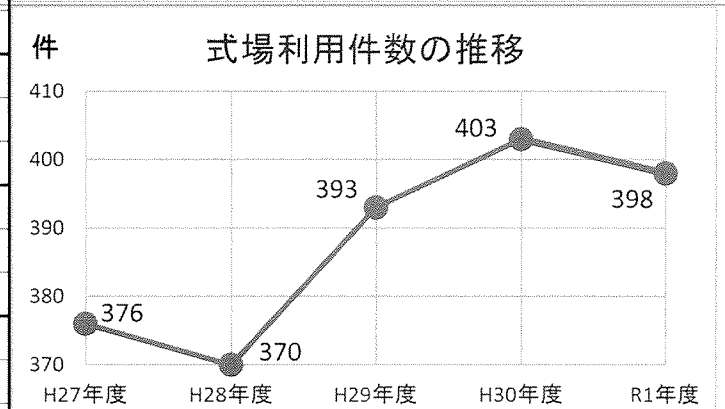
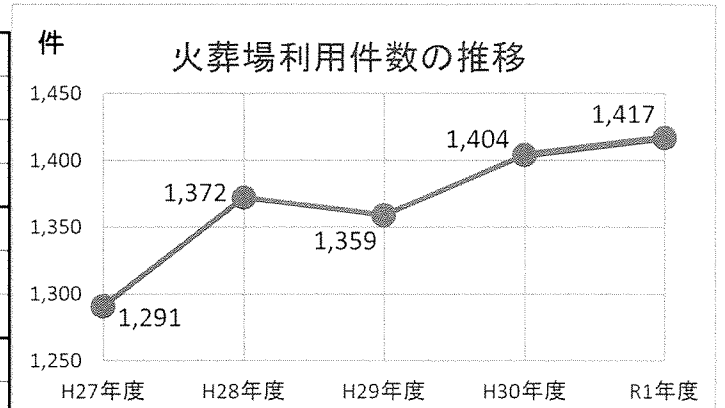
令和元年度 特別会計 火葬場・斎場事業実績



令和元年度 長南聖苑利用実績

(単位：件)

市町村	区分	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
茂原市	火葬場	89	66	70	87	108	101	94	82	116	97	103	93	1,106
	式場	8	12	12	19	23	20	14	14	19	18	21	18	198
	霊柩車	11	16	13	14	27	21	17	12	17	17	21	19	205
長柄町	火葬場	9	7	5	5	6	8	21	9	13	8	12	10	113
	式場	8	3	3	4	3	4	17	7	6	5	5	10	75
	霊柩車	6	2	3	4	3	4	18	6	6	3	5	9	69
長南町	火葬場	20	12	15	12	11	6	10	13	16	13	13	22	163
	式場	18	8	15	10	8	5	5	9	10	10	9	12	119
	霊柩車	15	7	15	9	8	5	4	7	6	9	7	11	103
一宮町	火葬場			1				3						4
	式場							1						1
	霊柩車							1						1
睦沢町	火葬場					1		1	1	1	1			5
	式場					1					1			2
	霊柩車					1				1	1			3
長生村	火葬場		1						1	1	1	1	1	6
	式場													
	霊柩車													
白子町	火葬場				1	1		1			1			4
	式場				1									1
	霊柩車				1									1
圏域外	火葬場	1		1	2	2	2	1	1	2	2		2	16
	式場					1	1							2
	霊柩車													
合計	火葬場	119	86	92	107	129	117	131	107	149	123	129	128	1,417
	式場	34	23	30	34	36	30	37	30	35	34	35	40	398
	霊柩車	32	25	31	28	39	30	40	25	30	30	33	39	382



1. The first part of the document discusses the importance of maintaining accurate records of all transactions. It emphasizes that every sale, purchase, and expense must be properly documented to ensure the integrity of the financial statements. This includes keeping receipts, invoices, and bank statements in a secure and organized manner.

2. The second part of the document outlines the various methods used to collect and analyze financial data. It describes how data is gathered from different sources, such as sales reports, customer feedback, and market research. The analysis involves identifying trends, patterns, and anomalies that can provide valuable insights into the company's performance and future prospects.

3. The third part of the document focuses on the role of technology in financial management. It highlights how modern software solutions can streamline processes, reduce errors, and improve the overall efficiency of the financial department. Examples of such technologies include accounting systems, data analytics tools, and automation software.

4. The fourth part of the document discusses the importance of transparency and communication in financial reporting. It stresses that stakeholders, including investors, creditors, and management, need clear and concise information to make informed decisions. This involves regular reporting, open communication channels, and a commitment to accuracy and honesty.

5. The fifth part of the document addresses the challenges faced in financial management and offers strategies to overcome them. These challenges include fluctuating market conditions, increasing competition, and the need for constant innovation. Strategies include diversification, risk management, and continuous learning and adaptation.

6. The sixth part of the document provides a detailed overview of the financial statements, including the balance sheet, income statement, and cash flow statement. It explains how these statements are prepared and what they represent. The balance sheet shows the company's assets, liabilities, and equity at a specific point in time. The income statement shows the company's revenues, expenses, and net income over a period. The cash flow statement shows the company's cash inflows and outflows over a period.

7. The seventh part of the document discusses the role of the financial manager in the organization. It describes the responsibilities of the financial manager, such as managing the company's finances, ensuring compliance with regulations, and providing strategic advice to management. The financial manager is also responsible for monitoring the company's financial performance and identifying areas for improvement.

Financial Management and Reporting